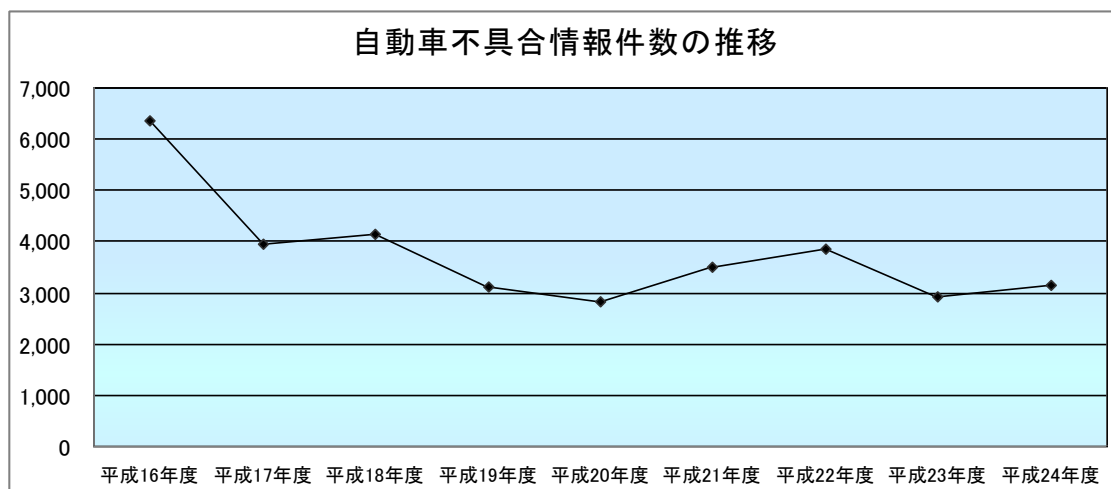


平成 24 年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<http://www.mlit.go.jp/RJ/>) に自動車ユーザー等から寄せられた市場での自動車不具合情報について、平成24年度の統計結果を公表いたします。

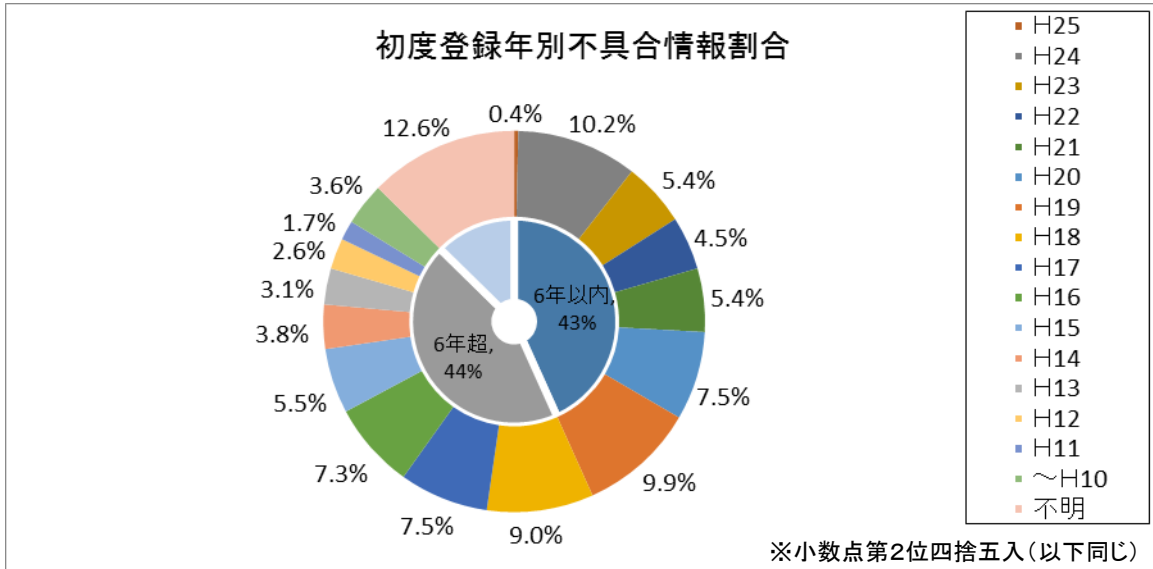
なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用など他の要因に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容の事実関係を保証しているものではありません。

1. 平成24年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報（以下、「不具合情報」という。）の件数は5,767件であり、そのうち有効な不具合情報の件数は（以下「不具合情報件数」という。）3,141件である。不具合情報件数の推移状況は、三菱自動車の不正行為が明らかとなった平成16年度をピークに減少傾向であったが、平成21、22年度は、トヨタ自動車のハイブリッド車の制動装置不具合をきっかけとしてリコールに対する社会的な関心が高まった結果、不具合情報件数が増加し、その後は収束したと考えられる。



年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
件数	6,361	3,934	4,150	3,110	2,837	3,493	3,862	2,906	3,141

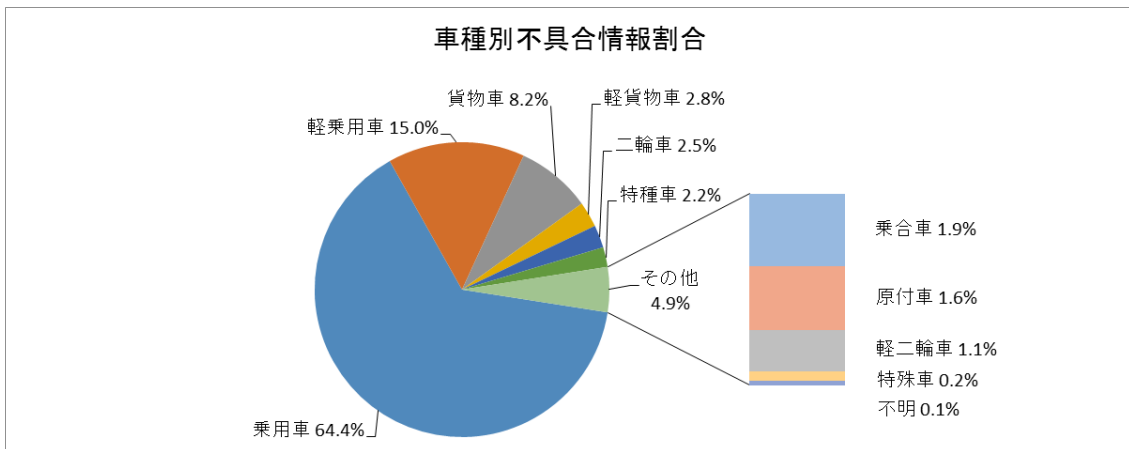
2. 初度登録年別不具合情報件数は、初度登録年が平成24年の自動車に関する自動車不具合情報件数が321件で全体の10.2%と最も多く、次いで、平成19年310件(9.9%)、平成18年284件(9.0%)の順となっている。初度登録年後の概ね6年以上経過した自動車に関わる不具合情報件数が全体の半数以上（不明を除く）を占めている。



初度登録年	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12	H11	H10	不明	合計
件数	11	321	170	142	169	236	310	284	237	230	173	118	96	82	52	113	397	3,141

3. 車種別不具合情報件数は、乗用車の2,022件が全体の64.4%と最も多く、次いで、軽乗用車472件(15.0%)、貨物車258件(8.2%)の順となっている。

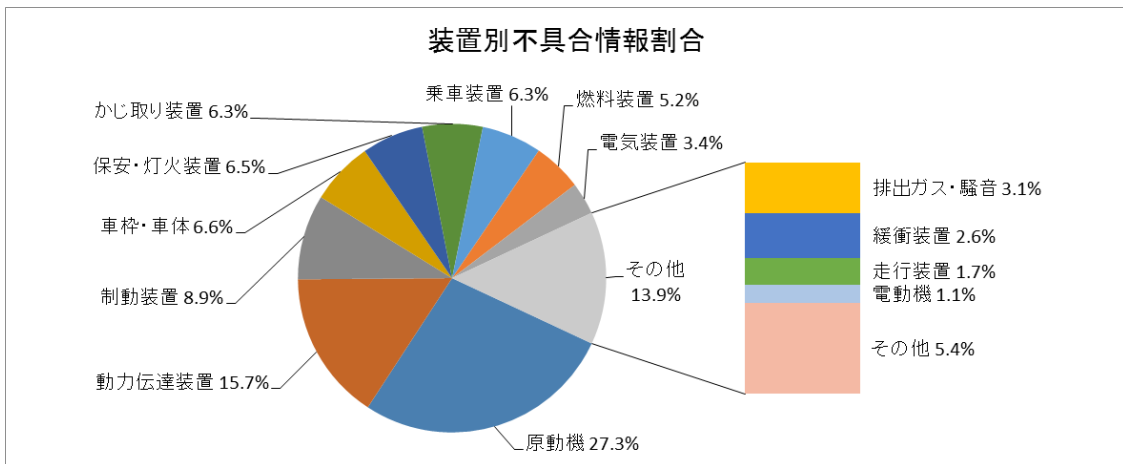
これは、自家用乗用車を使用する一般のユーザーから不具合情報が寄せられる割合が高く、また、乗用車の保有台数40,135千台が全保有台数82,324千台（平成24年3月末現在）の約48.8%であることにも関係しているものと考えられる。



車種別	乗用車	軽乗用車	貨物車	軽貨物車	二輪車	特種車	乗合車	原付車	軽二輪車	特殊車	不明	合計
件数	2,022	472	258	88	78	68	59	51	34	7	4	3,141

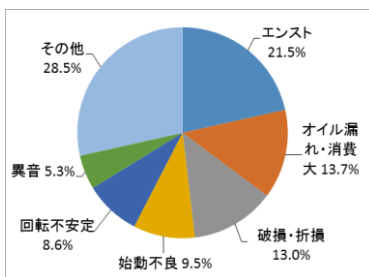
4. 装置別不具合情報件数は、原動機の 856 件が全体の 27.3%と最も多く、次いで、動力伝達装置 492 件 (15.7%)、制動装置 280 件 (8.9%)の順となっている。

また、不具合情報件数の多い装置について詳細を見ると、原動機の不具合事象はエンスト184 件、動力伝達装置の不具合事象は変速しない104 件、制動装置の不具合事象は制動力不足85 件がそれぞれ最も多かった。

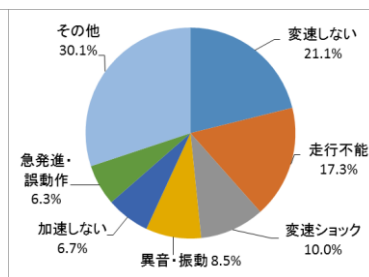


装置別	原動機	動力伝達装置	制動装置	車枠・車体	保安・灯火装置	かじ取り装置	乗車装置	燃料装置	電気装置	排出ガス・騒音	緩衝装置	走行装置	電動機	その他	合計
件数	856	492	280	208	203	199	198	162	106	97	83	52	34	171	3,141

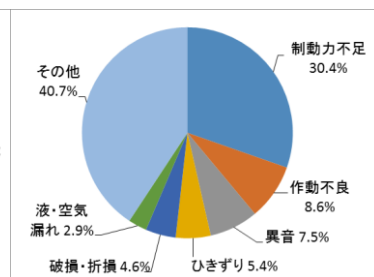
1. 原動機



2. 動力伝達装置

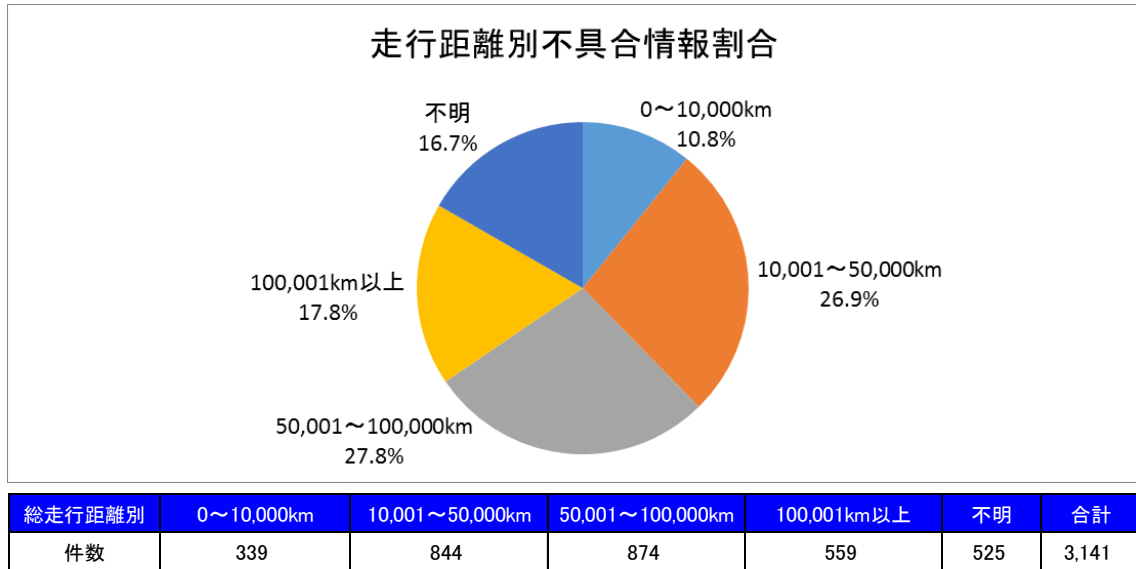


3. 制動装置



順位	不具合事象	件数	順位	不具合事象	件数	順位	不具合事象	件数
1	エンスト	184	1	変速しない	104	1	制動力不足	85
2	オイル漏れ・消費大	117	2	走行不能	85	2	作動不良	24
3	破損・折損	111	3	変速ショック	49	3	異音	21
4	始動不良	81	4	異音・振動	42	4	ひきずり	15
5	回転不安定	74	5	加速しない	33	5	破損・折損	13
6	異音	45	6	急発進・誤動作	31	6	液・空気漏れ	8
	その他	244		その他	148		その他	114
	合計	856		合計	492		合計	280

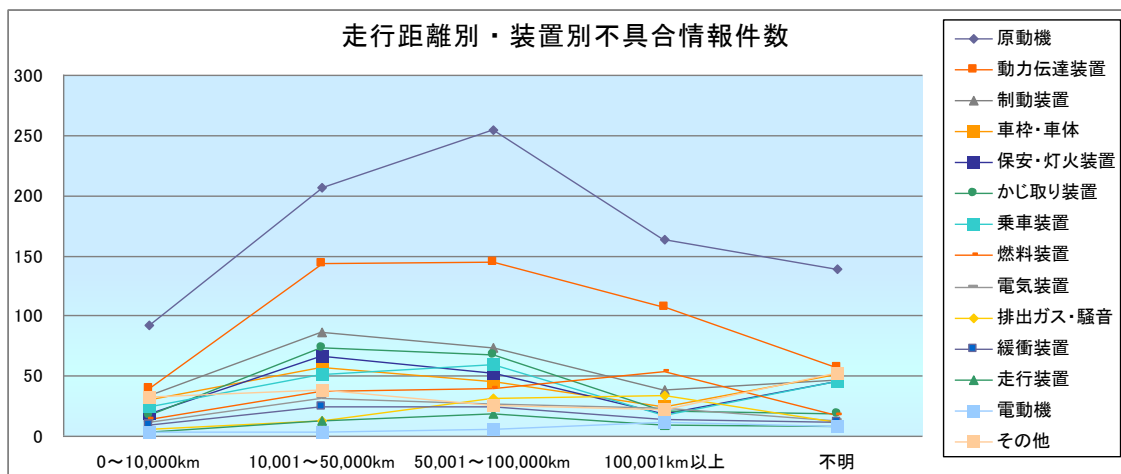
5. 走行距離別不具合情報件数は、5万km超10万km以下の874件が27.8%、1万km超5万km以下の844件が全体の26.9%と多くなっており、次いで10万km超559件(17.8%)、1万km以下339件(10.8%)の順となっている。



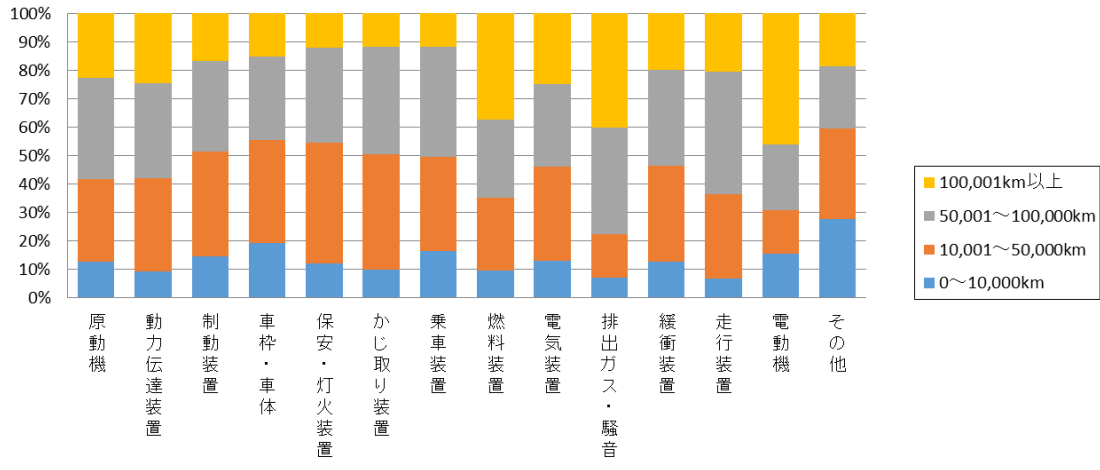
6. 走行距離別・装置別不具合情報件数は、全ての走行距離別の区分において原動機の不具合情報件数が最も多く、次いで動力伝達装置となっている。

燃料装置及び排出ガス・騒音については、走行距離が長い区分ほど不具合情報件数が多くなっている。それ以外の装置については、原動機・動力伝達装置を除く各装置では各走行距離別の区分とも概ね一定であり顕著な傾向は見られない。

また、不具合情報件数が最も多かったのは、走行距離5万km超10万km以下の原動機255件であり、次いで、走行距離1万km超5万km以下の原動機207件、走行距離10万km超の原動機163件の順となっている。



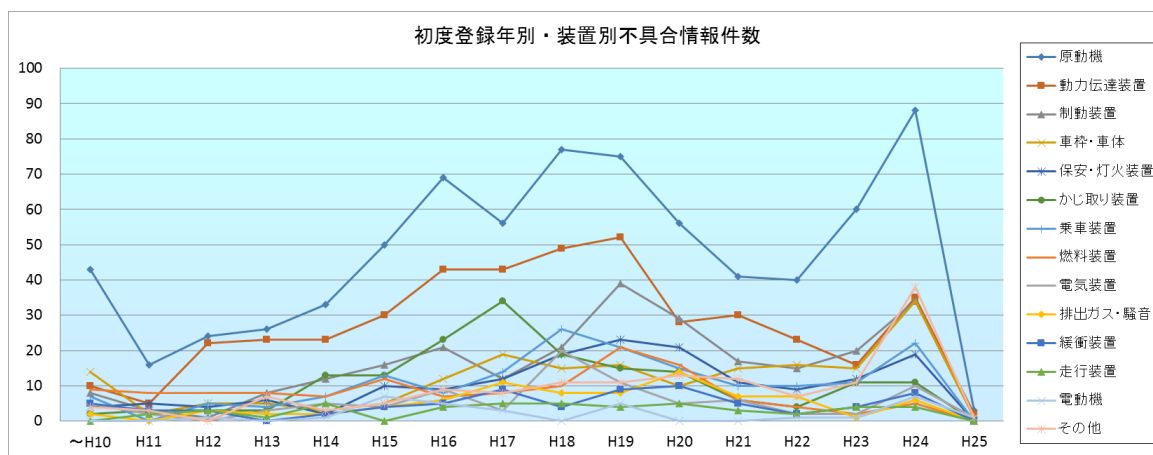
走行距離別・装置別不具合割合



総走行距離別 装置別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	92	207	255	163	139	856
動力伝達装置	40	143	145	107	57	492
制動装置	34	86	74	39	47	280
車枠・車体	30	57	46	24	51	208
保安・灯火装置	19	67	53	19	45	203
かじ取り装置	18	73	68	21	19	199
乗車装置	25	51	59	18	45	198
燃料装置	14	37	40	54	17	162
電気装置	12	31	27	23	13	106
排出ガス・騒音	6	13	32	34	12	97
緩衝装置	9	24	24	14	12	83
走行装置	3	13	19	9	8	52
電動機	4	4	6	12	8	34
その他	33	38	26	22	52	171
合計	339	844	874	559	525	3,141

7. 初度登録年別・装置別不具合情報件数は、全ての区分で原動機が最も多く、平成20・23年を除き動力伝達装置が2番目に多くなっている。

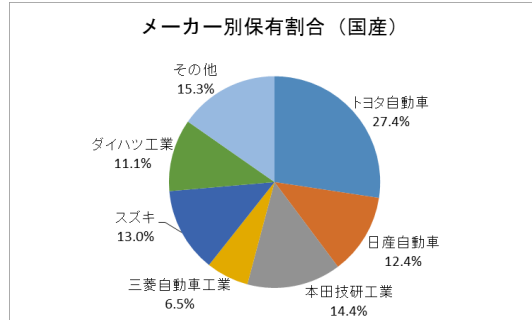
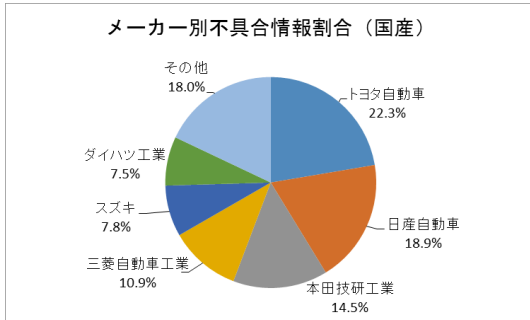
初度登録年の区分別に不具合情報件数の多い順を見てみると、全て原動機に関する情報で初度登録年が平成24年の88件、次いで平成18年の77件となっている。登録後概ね1年以内の原動機に関する不具合情報が著しく多くなっており、登録後概ね5年超10年未満の不具合情報も多い。また、原動機に次いで不具合情報の多い動力伝達装置についても、原動機と類似した傾向が見られる。



初度登録年別 装置別	～H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	不明	総計
原動機	43	16	24	26	33	50	69	56	77	75	56	41	40	60	88	3	99	856
動力伝達装置	10	5	22	23	23	30	43	43	49	52	28	30	23	16	35	2	58	492
制動装置	8	3	1	8	12	16	21	12	21	39	29	17	15	20	34	1	23	280
車枠・車体	14	2	5	5	3	5	12	19	15	16	10	15	16	15	34	1	21	208
保安・灯火装置	4	5	4	6	2	10	9	12	19	23	21	11	9	12	19	0	37	203
かじ取り装置	2	3	3	3	13	13	23	34	19	15	14	6	4	11	11	0	24	199
乗車装置	7	0	5	4	7	13	8	14	26	21	15	10	10	11	22	0	25	198
燃料装置	9	8	8	8	7	12	7	8	10	21	16	6	4	2	5	0	31	162
電気装置	5	2	0	3	5	4	9	3	20	11	5	6	2	2	10	1	18	106
排出ガス・騒音	2	0	3	2	2	4	6	11	8	8	14	7	7	1	6	0	16	97
緩衝装置	5	3	3	0	2	4	5	9	4	9	10	5	2	4	8	0	10	83
走行装置	0	2	3	1	5	0	4	5	5	4	5	3	2	4	4	0	5	52
電動機	0	0	1	0	1	7	5	3	0	5	0	0	1	1	7	1	2	34
その他	4	3	0	7	3	5	9	8	11	11	13	12	7	11	38	1	28	171
合計	113	52	82	96	118	173	230	237	284	310	236	169	142	170	321	11	397	3,141

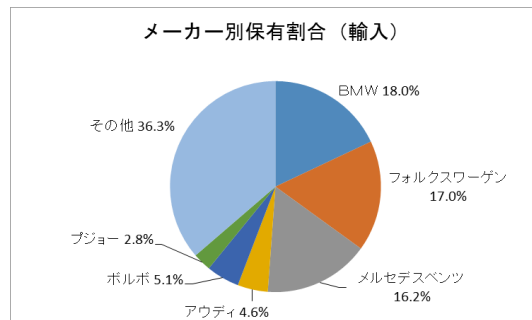
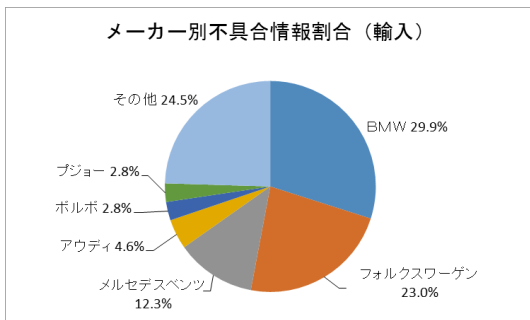
8. メーカー別不具合情報件数（国産車）は、トヨタ自動車の536件が全体の22.3%と最も多く、次いで日産自動車454件、本田技研工業348件の順となっている。

また、メーカー別不具合情報件数（輸入車）では、BMWの222件が最も多く、次いでフォルクスワーゲン171件、メルセデスベンツ91件の順となっている。



順位	メーカー名	件数
1	トヨタ自動車	536
2	日産自動車	454
3	本田技研工業	348
4	三菱自動車工業	262
5	スズキ	188
6	ダイハツ工業	180
	その他	431
	合計	2,399

順位	メーカー名	台数(千)
1	トヨタ自動車	20,63
4	日産自動車	9,31
2	本田技研工業	10,84
6	三菱自動車工業	4,90
3	スズキ	9,76
5	ダイハツ工業	8,32
	その他	11,53
	合計	75,32



順位	メーカー名	件数
1	BMW	222
2	フォルクスワーゲン	171
3	メルセデスベンツ	91
4	アウディ	34
5	ボルボ	21
6	プジョー	21
	その他	182
	合計	742

順位	メーカー名	台数(千)
1	BMW	683
2	フォルクスワーゲン	645
3	メルセデスベンツ	615
5	アウディ	176
4	ボルボ	193
6	プジョー	106
	その他	1,37
	合計	3,79

(注)：保有台数は、平成24年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字（小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。）より算出した。